

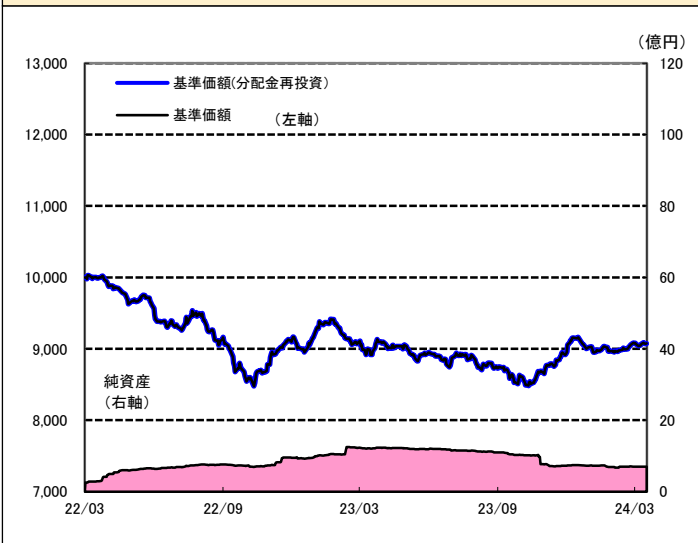


Aコース(為替ヘッジあり)の運用実績

2024年3月29日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 9,075 円

※分配金控除後

純資産総額 7.0 億円

騰落率

期間	ファンド
1カ月	0.9%
3カ月	-0.9%
6カ月	5.7%
1年	1.2%
3年	-

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 -9.3%

- 信託設定日 2022年3月14日
- 信託期間 2031年9月16日まで
- 決算日 原則9月15日  
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

年	分配金
2023年9月	0 円
2022年9月	0 円
-	-
-	-
-	-

設定来累計 0 円

設定来= 2022年3月14日 以降

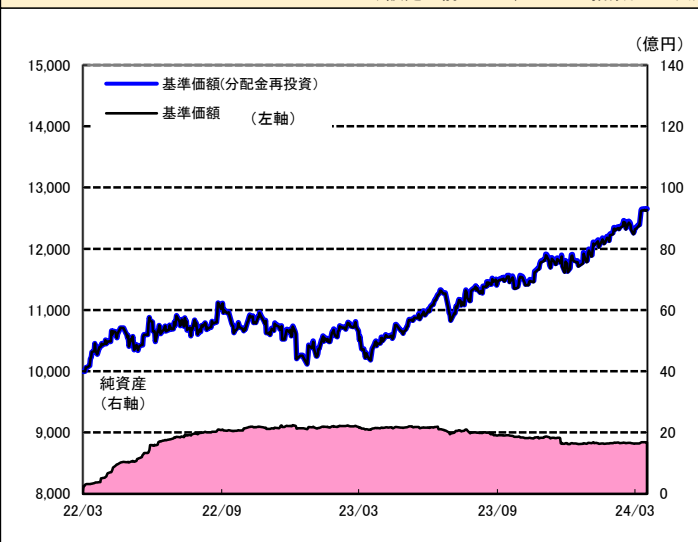
※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。  
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

Bコース(為替ヘッジなし)の運用実績

2024年3月29日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 12,633 円

※分配金控除後

純資産総額 16.8 億円

騰落率

期間	ファンド
1カ月	1.7%
3カ月	7.9%
6カ月	10.4%
1年	22.1%
3年	-

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 26.6%

- 信託設定日 2022年3月14日
- 信託期間 2031年9月16日まで
- 決算日 原則9月15日  
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

年	分配金
2023年9月	10 円
2022年9月	10 円
-	-
-	-
-	-

設定来累計 20 円

設定来= 2022年3月14日 以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。  
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



ノムラ・ファンズ・アイルランドーグローバル・ダイナミック・ボンド・ファンドの資産内容

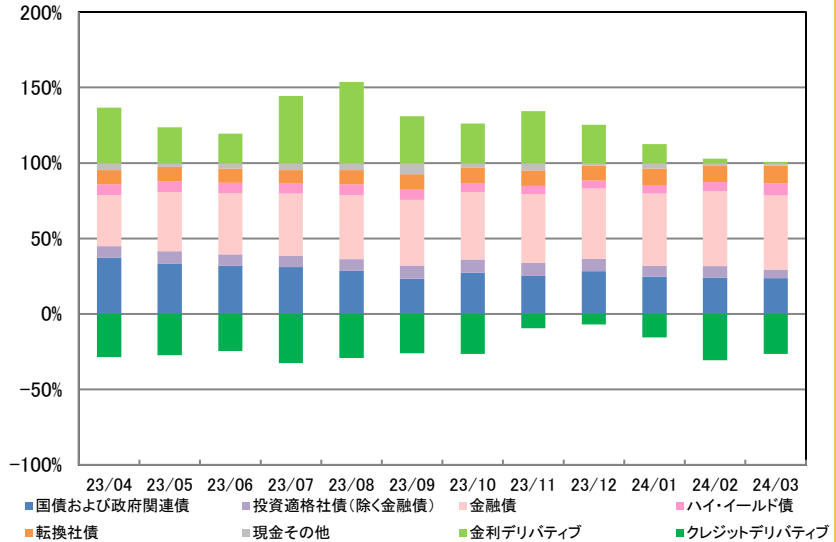
資産内容

2024年3月末現在

資産	債券種別配分		
	純資産比	現物	デリバティブ
国債および政府関連債	23.7%	0.8%	
投資適格社債(除く金融債)	5.7%	-14.3%	
金融債	49.1%	-2.4%	
ハイ・イールド債	8.0%	-9.8%	
転換社債	11.7%	0.0%	
現金その他	1.9%	0.0%	
合計	100.0%	-25.6%	

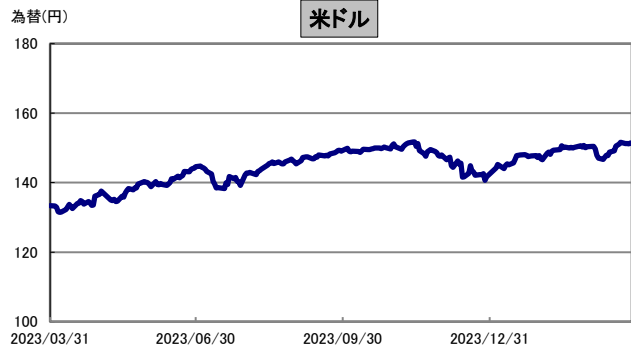
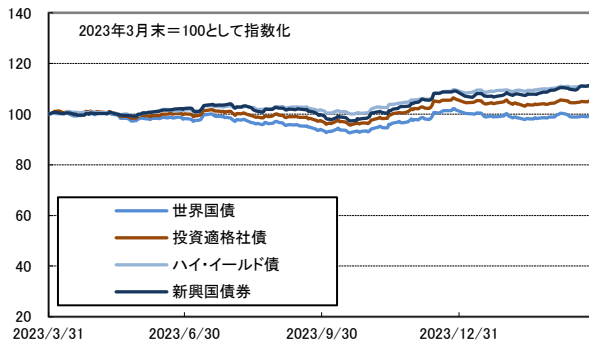
・四捨五入のため、合計があわない場合があります。  
・配分比率は野村アセットマネジメントが独自に算出した値です。

債券種別配分の推移(過去1年)



(ご参考)資産別パフォーマンスと為替レートの推移

2024年3月末現在



資産	月間騰落率 (月末ベース)
世界国債	0.4%
投資適格社債	1.1%
ハイ・イールド債	1.0%
新興国債券	2.1%

・米ドルベース

世界国債: FTSE世界国債インデックス  
投資適格社債: ICE BofA Global Corporate Index  
ハイ・イールド債: ICE BofA Global High Yield Index  
新興国債券: JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバースファイド  
(出所)ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

- FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
  - 「ICE BofA Global Corporate Index SM/®」「ICE BofA Global High Yield Index SM/®」は、ICE Data Indices, LLCまたはその関連会社(「ICEデータ」)の登録商標です。当ファンドは、ICEデータによって支持・推奨・販売・販売促進されるものではなく、また、ICEデータは当ファンドに関して一切の責任を負いません。
  - JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバースファイドは、J.P.Morgan Securities LLCが公表している、新興国国債を対象としたインデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。
- ・上記は過去のデータであり、将来を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの投資成果を示唆あるいは保証するものでもありません。

ファンドは、変動のある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



追加型投信/内外/債券

## ノムラ・ファンズ・アイルランドーグローバル・ダイナミック・ボンド・ファンドの資産内容と組入上位10銘柄

## 資産内容

2024年3月末現在

ポートフォリオ特性値	
平均格付	BBB
平均最終利回り	6.0%
平均デュレーション	4.5年
デリバティブ比率	-25.6%

・平均格付は、組入債券等について、ランク毎に数値化したものを加重平均しています。基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券等に係る信用格付を加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付ではありません。

・格付は、S&P社、ムーディーズ社、フィッチ社による格付のうち、最も高い格付によります。格付がない場合は野村アセットマネジメントが同等の信用度を有すると判断した格付によります。

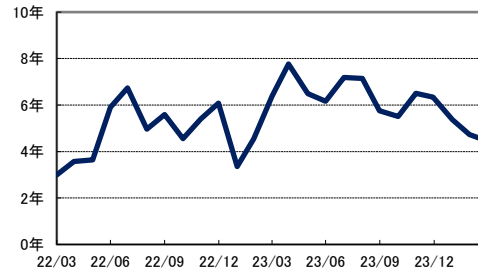
・平均最終利回りは、組入債券等を組入比率で加重平均したものです。

・平均デュレーションは、組入債券とデリバティブを組入比率で加重平均したものです。

・デュレーションは、金利がある一定割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標です。

・デリバティブ比率は純資産に対するデリバティブのエクスポージャーの合計です。

## 平均デュレーションの推移



格付別配分	
格付	純資産比*
AAA	1.8%
AA	4.8%
A	14.5%
BBB	39.5%
BB	29.0%
B	8.6%
その他の資産	1.9%
合計	100.0%

・格付は、S&P社、ムーディーズ社、フィッチ社による格付のうち、最も高い格付によります。格付がない場合は野村アセットマネジメントが同等の信用度を有すると判断した格付によります。

※現物資産から算出しています。

・四捨五入のため、合計があわない場合があります。

国・地域別配分		
国・地域	純資産比	
	現物	デリバティブ
米国	6.0%	0.6%
欧州	72.8%	-26.2%
日本	2.2%	0.0%
アジア	2.4%	0.0%
その他	16.6%	0.0%
合計	100.0%	-25.6%

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。

・四捨五入のため、合計があわない場合があります。

・配分比率は野村アセットマネジメントが独自に算出した値です。

## 組入上位10銘柄

2024年3月末現在

銘柄名	債券種別	国・地域	純資産比
MEX BONOS DES 8% 07/31/53/MXN/	国債・政府関連債	その他	3.4%
UNITED KINGDO 4% 10/22/63/GBP/	国債・政府関連債	欧州	3.0%
MEX BONOS 7.75% 05/29/31/MXN/	国債・政府関連債	その他	1.5%
NOTA DO TESO 10% 01/01/27/BRL/	国債・政府関連債	その他	1.4%
STANDARD CHARTERED V/R /PERP/	金融債	欧州	1.3%
BARCLAYS PLC V/R /PERP//GBP/	金融債	欧州	1.3%
KINGDOM OF BAHR 6.25% 01/25/51	国債・政府関連債	その他	1.3%
BULGARIA 4.875% 05/13/36/EUR/	国債・政府関連債	欧州	1.2%
REPUBLIC O 8.75% 01/31/44/ZAR/	国債・政府関連債	その他	1.1%
SANTANDER UK V/R 11/16/27/GBP/	金融債	欧州	1.0%
合計			16.6%

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

## ◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



## 先月の投資環境

○米国10年国債利回りは、上旬は2月のISM非製造業景況指数が市場予想を下回り、米景気の減速感が強まっているとの見方などから、利回りは低下(価格は上昇)しました。中旬は、2月のCPI(消費者物価指数)やPPI(生産者物価指数)が市場予想を上回り、インフレ圧力の根強さが意識されたことなどをを受け利回りは上昇(価格は下落)しました。下旬は、FOMC(米連邦公開市場委員会)において年内に0.25%の利下げを3回実施するとの予想が維持され、米欧の中央銀行が2024年半ばにも利下げを開始するとの観測が広がったことなどをを受け利回りは低下し、利回りは月間でも低下しました。

○米国ハイ・イールド債券市場は、上旬は2月のISM非製造業景況指数が市場予想を下回ったことや、FRB(米連邦準備制度理事会)議長の議会証言の内容が、市場の利下げ観測を後退させない内容であったと受け止められたことなどを背景に米金利が低下する中で、価格は上昇しました。中旬以降もFOMCにおいて2024年内の利下げ予測が据え置かれたことを受け、米国株式市場が上昇基調で推移したことを背景に市場心理が改善し、スプレッド(利回り格差)が縮小したことから、月間では値上がりとなりました。

○新興国債券市場は、上旬は新興国株式市場が上昇基調で推移したことや、中国の全人代(全国人民代表大会)での、中国当局による景気支援策への期待などを背景に上昇しました。中旬には2月の米国の物価関連指標が市場予想を上回り、インフレ圧力の根強さが意識されたことなどをを受けて米金利が上昇したことから下落する局面もありましたが、下旬は一部の新興国の中央銀行が利下げを行なったことを受けて、今後金融政策が緩和に向かうとの期待からリスク資産が上昇し、月間では値上がりとなりました。

## 先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

○主要国の中央銀行の利下げ開始への期待が高まり国債の利回りが低下したことや、新興国関連資産やクレジット性資産の価格が堅調に推移したことから、A・Bコースともに基準価額は上昇しました。Bコースについては、米ドルが円に対して上昇(円安)したこともプラスに影響しました。

○このような環境下で、クレジット性資産への投資スタンスを短期的にやや保守的とするため、流動性や信用度の低い銘柄などの売却を継続的に行ないました。欧州の大手金融機関が発行する債券については、財務状況がおおむね健全であるとの見方から、保有を継続しました。また、全体のリスクを低下させるため、デリバティブ(金融派生商品)を用いてクレジット性資産価格が調整するリスクをヘッジしました。金利リスクについては、金利感応度を前月からやや縮小しました。世界経済が減速する可能性は高く、かつ債券の利回り水準は魅力的ではあるものの、政策金利が引き下げられるまでにはまだ時間を要すると考えているためです。現物資産では、引き続き信用度が相対的に高い投資適格社債や金融債などを選択的に保有しました。また、相対的にファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)が健全で、高い利回りを享受できると考える新興国債券も保有しました。

## 今後の運用方針 (2024年3月29日 現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

○米国中心に中央銀行は、インフレ懸念を払しょくするために必要に応じて利上げに踏み切る姿勢を維持してきましたが、以前より柔軟な姿勢を打ち出してきました。経済指標の悪化に伴って、中央銀行の金融引き締めの姿勢が緩和するとの期待は残ると考えますが、世界経済や物価動向の不確実性は依然高いままと考えています。政策金利が高止まりする中で、金融機関による融資態度の悪化や融資基準の厳格化が起こる可能性があり、企業や個人の資金調達が困難になる恐れがあります。また、利益率を中心に企業業績は今後さらに悪化する恐れがあり、世界経済が減速する可能性が高まっていると考えています。

○ファンドでは、保守的なポジションを継続します。現物資産では、ハイ・イールド債や転換社債のうち、信用力の低い資産について売却もしくは入れ替えをします。ファンダメンタルズが堅調で、相対的に高い利回りを提供すると考える発行体の金融債や投資適格社債、信用力の高い発行体の転換社債などは継続的に保有します。ファンド全体のリスクを低下させるため、金利感応度をやや小さめとした運用を行なう予定です。

○ポートフォリオ全体の金利感応度はデリバティブで機動的に変更します。同時に不確実性への対処として、相対的に流動性の高い株価指数プット・オプションやクレジット・デフォルト・スワップによるヘッジポジションも機動的に導入します。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込みの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

## ◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員





## ファンドの特色

- インカムゲインの確保と信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。
- 世界の様々な債券および債券関連証券等を実質的な主要投資対象\*とします。  
※「実質的な主要投資対象」とは、外国投資法人や「野村マネーインベストメント マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- ファンドは投資する外国投資法人において、為替ヘッジ\*を行なう「Aコース」と為替ヘッジを行わない「Bコース」から構成されています。  
※「Aコース」は、投資する「ノムラ・ファンズ・アイルランドーグローバル・ダイナミック・ボンド・ファンドーRD JPYヘッジドクラス」において、原則として、純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行ないます。
- 各々以下の外国投資法人である「ノムラ・ファンズ・アイルランドーグローバル・ダイナミック・ボンド・ファンド」および国内投資信託「野村マネーインベストメント マザーファンド」を投資対象とします。

ファンド名	投資対象とする外国投資法人の円建ての外国投資証券
A コース	ノムラ・ファンズ・アイルランドーグローバル・ダイナミック・ボンド・ファンドーRD JPYヘッジドクラス
B コース	ノムラ・ファンズ・アイルランドーグローバル・ダイナミック・ボンド・ファンドーRD JPYクラス

- 通常の状況においては、「ノムラ・ファンズ・アイルランドーグローバル・ダイナミック・ボンド・ファンド」への投資を中心とします\*が、投資比率には特に制限は設けず、各証券の収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。

※通常の状況においては、「ノムラ・ファンズ・アイルランドーグローバル・ダイナミック・ボンド・ファンド」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。

## ■投資対象とする外国投資法人の概要

ノムラ・ファンズ・アイルランドーグローバル・ダイナミック・ボンド・ファンドーRD JPYヘッジドクラス／RD JPYクラス  
(アイルランド籍外国投資法人)

- ・世界の様々な債券および債券関連証券等を主要投資対象とし、ショートポジションも含む多様なデリバティブ取引等も活用し、インカムゲインの獲得および信託財産の成長を目指して運用を行ないます。
- ・ポートフォリオの構築にあたっては、主として世界の金利、通貨、信用リスクなどの見通しに基づくトップダウンアプローチを活用します。また、資産クラスや業種における個別銘柄分析を通じたボトムアップアプローチも活用し、地域配分・業種配分等に制限を設けず、分散されたポートフォリオを構築することを目指します。
- ・RD JPYヘッジドクラスは、原則として、純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行ないます。RD JPYクラスは、原則として為替ヘッジを行いません。

\* 上記は2023年12月8日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

- ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。
- 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングができます。
- 分配の方針

原則、毎年9月15日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。分配金額は、分配対象額の範囲内で、原則として利子・配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案し、委託会社が決定します。

\* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込みの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



投資リスク

各ファンドは、外国投資証券等への投資を通じて、債券および債券関連証券等に実質的に投資する効果を有しますので、金利変動等による当該債券および債券関連証券等の価格下落や、当該債券および債券関連証券等の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。  
※ファンドの基準価額の変動要因には、この他にも、デリバティブ取引に関するリスク、取引先リスクなどがあります。  
※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 2031年9月16日まで(2022年3月14日設定)
- 決算日および収益分配 年1回の決算時(原則、9月15日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1口単位または1円単位(当初元本1口=1円)  
※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額
- スイッチング 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングが可能です。  
※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が下記のいずれかの休業日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。  
・ニューヨークの銀行 ・ロンドンの銀行  
・ダブリンの銀行
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、NISA(少額投資非課税制度)の適用対象ファンドにおいてNISAを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.078%(税抜年0.98%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率* 年1.6455%程度(税込) ※ファンドが投資対象とする外国投資証券の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。
◆その他の費用・手数料	組入価額に相当する売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時・スイッチングを含む)	ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。  
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

＜分配金に関する留意点＞

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

【ご留意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。

<p>ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。</p> <p><b>野村アセットマネジメント株式会社</b> ★サポートダイヤル★ 0120-753104 (フリーダイヤル) &lt;受付時間&gt; 営業日の午前9時～午後5時 ★インターネットホームページ★ <a href="http://www.nomura-am.co.jp/">http://www.nomura-am.co.jp/</a></p>	<p>＜委託会社＞ <b>野村アセットマネジメント株式会社</b> [ファンドの運用の指図を行なう者]</p> <p>＜受託会社＞ <b>三井住友信託銀行株式会社</b> [ファンドの財産の保管および管理を行なう者]</p>
--	--

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

# グローバル・ダイナミック・ボンド・ファンド Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)

## お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社北海道銀行	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第1号	○		○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
木村証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第6号	○			
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○
丸近証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第35号	○			

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。  
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。